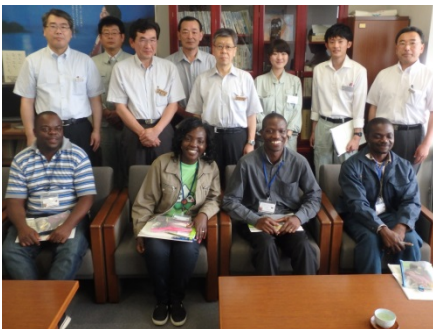


北部地方振興事務所 NNだより

鹿島台東部地区(ドローンにより撮影)

マラウイ国からの研修生 大崎管内を視察

平成28年7月18日～8月5日、アフリカの南東に位置するマラウイ国から技術研修生が4名来県し、7月27日に大崎管内で土地改良区の概要について説明を受けた後、農業水利施設、ほ場整備実施地区等を視察しました。8月4日には研修生による報告会が開かれ、そのなかで研修生と宮城県職員による活発な意見交換も行われました。今回の研修での経験がマラウイ国の農業の発展につながればと思います。



▲北部地方振興事務所長表敬訪問の様子です



▲大崎土地改良区で説明を受けている様子です



▲千刈江地区では当事務所職員からほ場整備についての説明がありました

小牛田農林高等学校 農業農村整備事業学習会

平成28年9月6日、小牛田農林高等学校農業技術科農業土木コースの1年生40名を対象に、農業農村整備学習会を開催しました。この学習会は農業土木コースで学ぶ高校生に農業農村整備事業への理解を深めてもらうことと、今後の学習や進路選択に役立ててもらうために、平成18年度から毎年開催しています。

今回の学習会では東日本大震災にかかる沿岸部の復旧・復興状況を学ぶために、東松島市の洲崎地区(農地復旧)、波津々浦海岸堤防(農地海岸堤防)、石巻市の大川地区(農地復旧)を訪れました。



◀旧野蒜駅では、東日本大震災の被害の様子を展示したパネルや映像を見学しました



▲左から、洲崎地区、波津々浦海岸堤防、大川地区で説明を受けている様子です

東日本大震災当時、小学生だった生徒も、今回の学習会で現地を訪れ、改めて被害の大きさや復旧の進捗状況を知るとともに、現在学んでいる農業土木が復旧・復興にどのように携わっているか学ぶことができたと思います。

多面的機能支払交付金活動の紹介～馬放地区農地・水・環境保全向上活動推進組織 かかし作り～

平成 28 年 7 月 24 日、大崎市馬放地区でかかし作りが実施されました。このイベントは多面的機能支払組織である「馬放地区農地・水・環境保全向上活動推進組織」が平成 21 年から開催しており、毎年恒例となっています。今回は小学生 9 名を含む総勢約 75 名が参加し、個性豊かなかかしができあがり、完成した 8 体のかかしは道路沿いの機場の前に設置されました。



◀(左)8つの班に分かれてかかし作りをしました

(右)機場の前に設置されたかかしは道路からもよく見えます

大崎地域の農業・農村(産業行政)に関する郷土研究講座 第 1 回現地調査

当事務所では、地方創生等の課題や各種施策等について、地域に密着したサービス・サポートを目指しており、その一環として若手職員に地域の歴史、文化などによる地域の成り立ちを学ぶ郷土研究講座を実施しています。

今回は、三本木・中新田・岩出山方面で、大崎合戦や伊達政宗が県内に初めて居城した「岩出山城」などについて学びました。



◀(左)新沼城跡
(右)桑折城跡

宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号(宮城県大崎合同庁舎内)

TEL 0229(91)0701(代)

FAX 0229(23)5014

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/>

編集：計画調整班

